

つみきのくらし

NO.36

日々の暮らしの中で、こども園つみきとして大切にしたいことや、こどもとおとなの素敵な姿をお伝えしていきます。



大浦 久子

本物のおもちつき



おもたい...でも大丈夫!



わあ、すんごい!

小さいクラスの子どもの、おもちつきをやってみたいという発言と、その気持ちを受け止めた保育者のどうやったら本物のおもちつきができるか...という発信から今回のおもちつきが急遽行われました。

かつて園で行われていたおもちつき会は、おもちをのどに詰まらせるリスクが高いことから無くしていった行事でしたが、今回のおもちつきは食べる目的ではなく日本の文化である『鏡もち』を作ることを目的としました。

絵本で見るとおもちつきのおもちがこんなにおいなんだ...、こんなにもちって熱いんだ...、もちってやわらか~い! など杵を持ち上げてぺったんぺったんする表情はどの子も楽しそうで真剣でやってみたくて感じられました。

急遽行うことになったおもちつきは、保護者の方からもち米をいただいたり、地域の方から臼や道具をお借りしたりとたくさんのご厚意とご協力があったからこそ行うことができました。改めまして感謝の気持ちを申し上げます。今後も、育ち・学びの吸収が盛んなこの時期に本物に触れ、感じる経験を園での暮らしの中でできるような経験づくりをしていきたいと思えます。

大人も同じだね!

現在のつみきの職員で、杵と臼でおもちをつく知識がある人が少ない...。でも、子どもたちの気持ちに応えてあげたい! そんな思いで担当した職員は必要な物やおもちの作り方の予習を始めていました。過去の記憶を辿って...イメージしながら当日を迎えました。やってみて反省はあったと思いますが、なかなかのおもちの出来栄や手ごたえに、大人たちも嬉しそうな素敵な表情を見せていました!

園長もはじめてをいっぱい経験しました! 杵を振りあげ、一緒に作り上げました!



子どもたちが作った鏡もちです!



あれ? やわらかくなった?

出来上がった鏡もちの感触を確かめていました

令和6年いろんな「はじめて」をこどもたちや保護者の皆さんと経験してきました。好きなことも苦手なこともやってみたくて思う気持ちが大切なのは大人も同じなのだ。と行事の動画作成を通して再確認しました。保護者の皆さんには、至らない点をお見せする機会が多々あったことをお詫びしますと同時に、皆さんの温かいお心遣いやご協力に感謝しています。ありがとうございました。来年もよろしくお願いたします。